様式例６

覚　　書

〈記入例〉

○○不動産（以下「甲」という。）と、○○　○○（以下「乙」という。）は、甲乙間で締結した令和○○年○○月○○日付け賃貸借契約（以下「契約書」という。）の乙の表示に関し下記のとおり取り決めた。

記

契約書における乙の表示は、乙が秋田県知事に申請中の医療法人の設立が認可された日をもって「医療法人○○会」（理事長（氏名）、（法人の住所））と読み替える。

賃貸借契約期間についても長期間とする。

本覚書の成立を証するため本書２通を作成し、当事者各１通を所持する。

令和　　年　　月　　日

甲　　住　所
会社名
代表者名　　印

乙　　住　所（自宅の住所）
医療法人○○会
設立代表者　　印

（作成上の注意）

１．下記の２つの要素を満たすものであれば、「不動産賃貸借契約引継承認書」「念書」「確認書」等その様式、形態を問わないこと。

・賃貸人を個人から法人に引き継ぐための「読替の特約」

・長期間にわたり賃貸借契約を継続することの保証

２．貸主が複数である場合には、甲欄を連名で作成するか、貸主ごとに作成するかいずれかの方法で構わないこと。